

お知らせ

平成26年10月 7日

同時資料提供先 : 岡山県政記者クラブ  
中国地方建設記者クラブ

産学官の連携で安全・安心な暮らしの確保

## 中国地方建設技術開発交流会(岡山県会場)を開催します。



開催日時 **平成26年10月14日(火)**  
**13:00~17:15**

開催場所 **山陽新聞さん太ホール**  
**(岡山市北区柳町2-1-1)**



中国地方建設技術開発交流会は、最先端の技術を扱う民間の技術者『産』、大学や高専の先生『学』、行政担当者『官』が、新技術・新工法について発表することにより、各分野の技術交流や一般の方を含む多くの方が建設技術の情報を共有することを目的に開催するものです。

今年度のテーマは『**社会資本の老朽化対策**』です。

(詳細なプログラムは、裏面のとおり)

事前申込手続きは不要、入場料無料です。(会場にて記名受付を行います。)  
受付は12時から行います。

主催：中国地方建設技術開発交流会 実行委員会

「中国地方建設技術開発交流会 実行委員会」は、中国地方の5県・政令2市、国土交通省中国地方整備局、公益法人等20団体の計28団体で構成されています。

問い合わせ先



中国地方整備局 中国技術事務所

総括技術情報管理官 田中 大嗣  
たなか ひろつく  
うしお まさたか  
防災・技術課長 牛尾 正孝

住所 : 広島市安芸区船越南2丁目8番1号  
電話 : (082)822-2340(代表)  
URL : [http://www.cgr.mlit.go.jp/ctc/tech\\_dev/kouryu/intro.htm](http://www.cgr.mlit.go.jp/ctc/tech_dev/kouryu/intro.htm)

## 2014 岡山県会場



**安心・安全な社会を目指して**  
～社会資本の老朽化対策  
及び防災・減災への取り組み～



開催日：平成26年10月14日(火) 場所：山陽新聞さん太ホール  
入場無料 事前申し込み不要 岡山県岡山市北区柳町2-1-1

### タイムスケジュール

13:00	開会挨拶	岡山県土木部長 関沢元治
13:05	基調講演	
	「少子化時代におけるインフラ構造物の維持管理をどのように考えるのか」	
	岡山大学大学院 環境生命科学研究科 社会基盤環境学専攻 教授 西山 哲	
13:55	休憩	
14:05	「河道内での植生動態予測モデルの開発と旭川下流河道への適用」	
	岡山大学 環境生命科学研究科 准教授 吉田 圭介	
14:30	「国道53号津山管内の供用40年以上のコンクリート舗装の維持補修の検討」	
	国土交通省 岡山国道事務所 管理第二課長 松元 洋之	
14:55	「備讃瀬戸環境修復に向けた取り組み状況について」	
	国土交通省 宇野港湾事務所 港湾施設監査官 荒木 達也	
15:20	休憩	
15:30	「腐食が進行した無塗装耐候性鋼材に対する補修技術の体系的高度化」	
	山口大学大学院 理工学研究科 教授 麻生 稔彦	
15:55	「安藤ハザマが進める「CIM」活用 ～3次元計測とモデリング～」	
	(株)安藤・間 技術研究所 先端技術研究部 黒台 昌弘	
16:20	「フィールドビューモニター (FVM)」	
	住友建機販売(株)中四国総括部販売促進グループ 吉原 英志	
16:45	「IT技術を活用したコンクリート構造物の維持管理支援システム (サムシング)」	
	東亜建設工業(株) 技術研究開発センター 網野 貴彦	
17:10	閉会挨拶	国土交通省中国技術事務所 秋山 良壮



主催：  
中国地方建設技術開発交流会 実行委員会 構成団体  
鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、広島市、岡山市、国土交通省中国地方整備局、  
(公財)鳥取県建設技術センター、(公財)島根県建設技術センター、(公財)岡山県建設技術センター、(一財)山口県建設技術センター  
中国土木施工管理技士会連合会、建設業協会中国ブロック協議会、(一社)中国建設弘済会、(一社)日本建設業連合会、  
(一社)日本道路建設業協会、(一社)プレストレスト・コンクリート建設業協会、(一社)日本橋梁建設協会、  
(一社)建設コンサルタンツ協会、(一社)日本建設機械施工協会、(一社)全国コンクリート製品協会、(一社)日本鉄鋼連盟、  
(一社)全国特定法面保護協会、(一社)日本造園建設業協会、(一社)全国道路標識・標示業協会、  
(一社)建設電気技術協会 (一社)日本埋立浚渫協会  
[事務局：国土交通省 中国技術事務所]  
共催：  
(公社)地盤工学会中国支部、(公社)土木学会中国支部、(公社)日本技術士会中国本部

中国地方建設技術開発交流会は下記団体の継続学習制度(CPDプログラム)の認定を受けております。(順不同)  
(一社)全国測量設計業協会連合会、(一社)全国土木施工管理技士会連合会、  
(公社)日本建築士会連合会、(一社)建設コンサルタンツ協会

建設系CPD協議会に加盟する下記団体については、CPD単位相互承認制度をご利用ください。(順不同)  
(公社)空調調和・衛生工学会、(公社)地盤工学会、(一社)全国上下水道コンサルタンツ協会、(公社)日本造園学会  
(一社)森林・自然環境技術者教育会、(公社)土木学会中国支部、(一社)全国地質調査業協会連合会、  
(一社)日本環境アセスメント協会、(公社)日本技術士会中国本部、(公社)日本都市計画学会、(公社)農業農村工学会